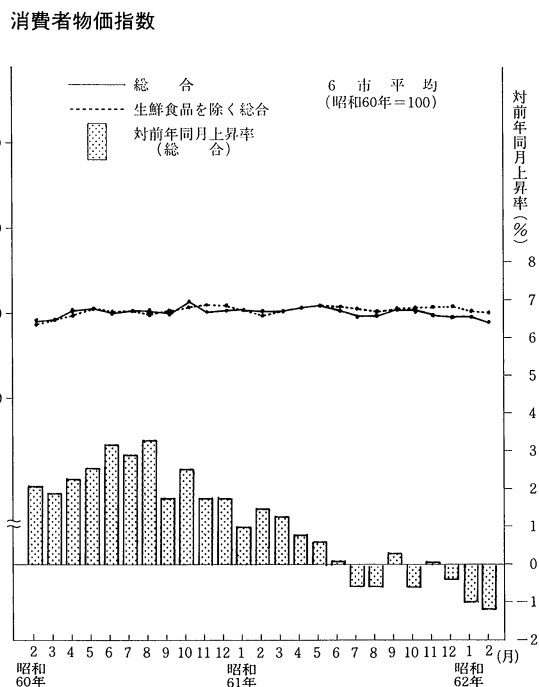
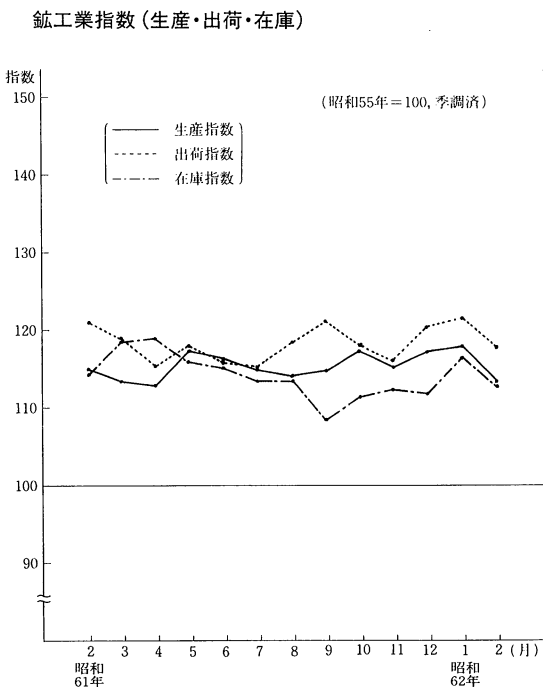
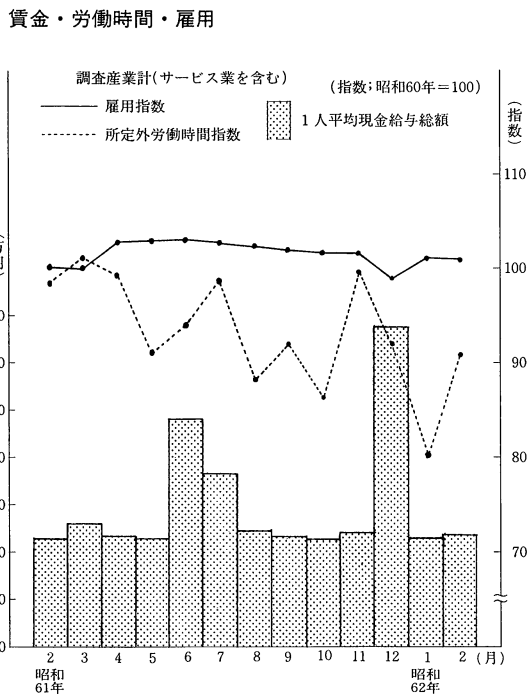
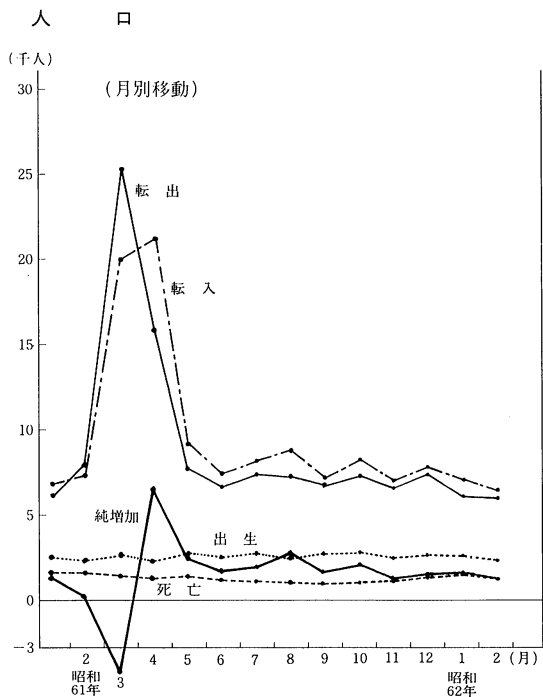


今月の主な動き



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (3月1日)

本県の人口は、2月中に1,462人増加し、3月1日現在で2,755,210人(男1,373,236人, 女1,381,974人)となった。

昨年3月1日現在と比較すると22,606人(0.83%)の増加である。

内訳は、自然動態で978人(出生2,418人, 死亡1,440人)、社会動態で484人(転入6,727人, 転出6,243人)それぞれ増

加した。

市町村別では、増加が11市53町村, 減少が7市20町村, 増減なしが1市である。

世帯数についても、524世帯増加して、772,946世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (2月)

1. 平均賃金の推移

2月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は235,229円で前月に比べ0.9%増(前年同月比0.8%増)であった。

このうちきまって支給する給与は233,905円で前月に比べ1.5%増(前年同月比0.9%増)であり、特別に支払われた給与は1,324円で前年同月に比べ301円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は176.8時間で、前月に比べ11.2%増(前年同月比0.7%減)であった。

このうち所定内労働時間数は160.3時間で、前月に比べ11.1%増(前年同月比0.1%増)であり、所定外労働時間数は16.5時間で、前月に比べ13.1%増(前年同月比7.8%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると101.0で、増減率は前月に比べ0.2%減, 前年同月に比べ0.8%増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (2月)

本県における昭和62年2月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が113.4, 出荷が117.9, 在庫が113.1で前月比は、生産が4.0%の低下, 出荷が3.2%の低下, 在庫が3.1%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が1.6%の低下, 出荷が2.4%の低下, 在庫が1.1%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、輸送機械工業、鉄鋼業等が上昇し、一般機械工業、食料品・たばこ工業、精密機械工業等が低下した。出荷では、非鉄金属工業、窯業・土石製品工業、輸送機械工業等が上昇し、食料品・

たばこ工業、精密機械工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、木材・木製品工業、一般機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財が上昇し、資本財、非耐久消費財等が低下した。出荷では、建設財が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。在庫では、その他用生産財、鉱工業用生産財が上昇し、資本財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (2月)

昭和62年2月の茨城県消費者物価指数は、総合で99.2(昭和60年=100)となり前月比△0.3%の下落, 前年同月比△1.1%の下落となった。

今月上がった主な項目……自動車等関係費1.7%, 他の光熱0.5%

今月下がった主な項目……シャツ・下着△4.1%, 衣料△3.2%, 野菜・海草△3.0%, 果物△1.5%

生鮮食品(生鮮魚介, 生鮮野菜, 生鮮果物)を除く総合は99.9となり, 前月比及び前年同月比とも△0.2%の下落と

なった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	99.2	△0.3	△1.1	保健医療	103.0	0.0	2.4
食 料	98.2	△0.5	△2.9	交通通信	100.1	0.7	△0.4
住 居	103.3	0.0	1.7	教 育	104.6	0.0	3.6
光熱・水道	89.7	△0.3	△9.6	教養娯楽	100.4	0.0	△0.1
家具・家事用品	99.8	△0.2	△1.1	諸 雑 費	102.9	0.0	2.6
被服及び履物	97.7	△2.8	1.9	生鮮食品を除く総合	99.9	△0.2	△0.2